

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 赤津杏咲 内木艶子 岩本真由美
-------------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		11	3		14

前回の改善計画	利用開始前に職員、ケアマネージャー間で情報共有できるように会議などを行う。利用者、家族からの要望を共有できるように会議などを行い、また、利用開始時のケアプランは印刷し各職員が確認できるようにする。介護記録の記入、朝、夕の申し送り、月1回のフロア会議などを徹底し、各職員が情報把握の共有化に努めるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規の利用者の情報については、まとも次第申し送りし情報の共有を行い事前に対応できるように話し合いを行いました。引き続き、夜勤者より日勤者へ朝の朝礼を行い、夜間の様子や当日のやらなければならないことなどを申し送りました。また、夕食をクックチルにしたことにより夕方時間を作ることができ、反省会にあてることが出来ている。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	3		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		14			14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	9	2		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	8	3		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
現在の利用者に合わせて対応を行っており、フロア会議や申し送りノートを活用することで、その都度各職員から意見をもらいニーズに合わせて対応の変更を行っている。新規の利用者の情報やケアプランなどのコピーを申し送りノートに挟むことにより、各職員が情報を把握できるようになった。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
まだまだ、情報共有が不十分だったり、業務に追われて話し合いや申し送りが出来ていない時がある。一人の方へサービスをやりすぎてしまうことがあるため、どこまでサービス提供していくのか決めていく必要がある。利用者に合わせて援助を行いたいが、その時の業務の忙しさや他利用者への配慮などによりなかなかうまくできないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
他職種間の連携がうまくできるように、朝の申し送りや夕方反省会、フロア会議などで情報共有していく。また、常に利用者ごとの支援の内容ややり方について検討を行い、改善を行うようにする。情報共有不足を補うために、引き続き、申し送りノートや夕方反省会の活用、改善を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月1日 (16:00~17:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 赤津杏咲 内木艶子 岩本真由美

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7	6	1	14

前回の改善計画	担当以外もケアプランの把握ができるようにするために、年1回程度担当の入れ替えを行い、ケアプラン、モニタリングの把握に努めるようにする。また、ケアプランの確認、把握ができるよう、業務の見直し、話し合いをする機会を作るなどの体制を考えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者や職員の入れ替わりなどがあり、担当の入れ替えができませんでした。しかし、モニタリングは他職員にも確認してもらうことで、担当以外のケアプランの把握もできるようにしている。業務の見直しなどは、夕方の反省会を行うことができてきたので、そこで意見を出し合い変更などを検討することができている。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	6	7		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	7		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8	4		14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	5		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者との会話や接する際に要望などを確認し出来る限り対応をして、その場で難しい場合には夕方反省会やフロア会議などで他職員やケアマネージャーに相談することで検討、対応している。業務の合間を縫って、担当以外のケアプランやモニタリングを確認する意識ができている。また、介護記録をしっかりと記入することで、ケアプランやモニタリングの参考にすることが出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
担当の入れ替えについては、利用中止や新規の方などの変更によりほとんどできませんでした。また、ケアプランやモニタリングの確認についても、不十分な部分が多く、まだまだ出来ていない部分が多くありました。ニーズとしてケアプランに上がっていることでも、今年は新型コロナウイルスの影響で出来ないことが多くありました。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
担当以外の職員がケアプランやモニタリングの確認ができるように年1回位のペースで担当の変更を行っていく。朝の申し送りや夕方反省会、フロア会議で他職種間で意見の交換ができるようになったので、その意見をケアプランやモニタリングに反映させていく。また、新型コロナウイルスに対応したケアプランに変更していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 赤津杏咲 内木艶子 岩本真由美
------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	2	2	14

前回の改善計画	家族と直接話をする機会が少ないので、月1回のサービス担当者会議に職員も参加しフロアでの様子を伝え、家族からの要望や情報などを聞けるようにしていく。また、その際に様子を伝えられるようにするため、しっかり利用者とは話をし合う機会を作り会話や様子などを記録に残していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員の勤務状況などから毎回サービス担当者会議に参加することは難しいが、出来る限り参加できるようにしている。また、参加できない場合は事前に職員とケアマネージャーでフロアでの様子などの情報共有を行うようにしている。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	8	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	11			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		10	4		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	9	3		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者とはできる限り接し、会話や様子、表情等から体調などの変化に気を付け他職員やマネージャーに報告し早く対応することが出来ている。また、今年度から医務との連携が変わったため、医療的な対応が早くなりました。色々な介助面についてはできる限り利用者に合わせた介助を行っており、何か特変があればその都度対応することが出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
業務の都合で月1回のサービス担当者会議への参加が少なく、また、新型コロナウイルスの影響で大人数で集まる会議などもできませんでした。自宅での生活環境などが十分把握できないことも多く、看護師として出来る事が限られていた。業務の都合上、訪問へ行くことが少なくなり自宅での生活の変化が分りにくくなった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新型コロナウイルスの影響で大人数で集まる会議が出来ない状況の中で、事前に他職種間で意見交換を行い、サービス担当者会議に臨めるようにしていく。また、ご家族様が来設された時などに、時間を作り自宅での様子や今までの生活環境をできる限り確認するようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 赤津杏咲 内木艶子 岩本真由美
---------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9	4	1	14

前回の改善計画	利用開始時、担当ケアマネージャーや家族から今までの地域資源の活用や生活スタイルなどを把握できるように話をしていく。活用している地域資源がある場合は継続できるように配慮し、利用中に必要なことが増えた場合は、利用者、家族、ケアマネージャー、職員などと話し合い地域資源の活用に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始時や月1回のケース会議の際に家族から今まで使用していた地域資源の活用について話をするようにしている。ただ、今年度は新型コロナウイルスの影響でうまく活用することができなかった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	4		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	7		14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	6	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5	7	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者や家族から、昔の話や自宅での生活についてケアマネージャーが確認し、全体で情報共有できるようになった。本人との会話の中から、ニュースやスポーツ、趣味などを確認することができ、そこから色々な話をするのが出来た。また、ケアマネージャーから地域包括支援センターなどへ連絡をし、地域資源の活用ができるように連携に努めました。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
民生委員などの地域資源が十分活用しきれなかった。今年度は、新型コロナウイルスの影響で地域へ出かけたりすることも少なくなってしまった。利用者によっては、家族からの協力が難しかったり、訪問がない利用者の場合自宅周辺の様子や情報がほとんど得られない事も多かった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新型コロナウイルスの影響が続いていくと思われるので、地域に出かけるのを控え、電話対応などで地域資源などを活用していく。他職種間で話し合う機会を定期的に設けて、情報共有できるようにしていきたい。また、引き続き、地域包括支援センターなどと連携を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 赤津杏咲 内木艶子 岩本真由美
----------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？		11	3		14

前回の改善計画	利用者のニーズに合わせたサービスの提供や変更については概ね出来ているため、引き続き継続していく。ただ、変更についての申し送りに対して情報共有できていない事や、利用者、家族のニーズに合わせた支援についてはまだ不十分のため、ケアマネージャー、職員間で申し送りや会議をしっかりと行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者のニーズに合わせた対応は引き続き出来ている。申し送りについては、日々の申し送りノートについて記入方法を変更してみたり、夕方の反省会などを活用して情報共有に努めている。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	6	7		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	10	2		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	11	2		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	10	3		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者や家族のニーズに合わせた、通い、訪問、宿泊のサービスの提供はかなり対応できている。また、当日急遽の変更に対しても職員間で連携することで柔軟に対応している。また、夕方反省会やフロア会議などで、職員、ケアマネージャーと課題を情報共有し、検討することができるようになりサービスの質を上げる事ができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者によっては、サービス内容が曖昧な部分がありはっきりと決まっていないこともあった。家族と利用者のニーズがずれている場合、どちらのニーズを優先すればよいのか迷うこともあった。地域資源の活用については、把握することが難しく、また、新型コロナウイルスの影響で使用することも難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者のニーズに合わせた支援は引き続き継続する。夕方反省会やフロア会議を利用することで、利用者ごとの課題に対して柔軟に対応できるようにしていく。また、サービス内容について曖昧な部分は、他職種間や本人と家族と話し合う事で、どのようなサービスしていくかを検討し、フロアへ申し送りできるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月1日 (16:00~17:00)
6. 連携・協働	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 赤津杏咲 内木艶子 岩本真由美

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		1	10	3	14

前回の改善計画	<p>体験学習の受け入れやオレンジプラスカフェによる地域の方との交流は行っているため、引き続き実施していきたい。</p> <p>他のサービス機関や地域包括支援センター、自治体などの会議への参加や繋がりについては、ほとんどできていない状態なので、ケアマネージャーや他職種連携による会議やイベントの日程などの情報を共有して参加できるようにしていきたい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>今年度は、新型コロナウイルスの影響で外部からのボランティアや体験学習などの受け入れや地域行事への外出をほとんど行う事ができなかった。また、地域包括支援センターや自治体の会議などにも参加できなかった。</p>

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？		3	3	8	14
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1		13	14
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		1	2	11	14
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	3	10	14

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<p>オレンジカフェを行い、利用時間を分けることによって毎回参加して頂いている。必要に応じて、訪問看護や移動販売などを利用して頂いている。必要に応じて、ケアマネージャーが家族、本人と相談し、福祉用具も活用している。また、医務と連携を行う事によって、特変への対応や病院受診などをスムーズに対応できている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<p>新型コロナウイルスの影響で外部からのボランティアや行事がすべて中止になり、地域行事などに参加することが出来なかったため、地域との交流もほとんど行う事が出来ませんでした。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>新型コロナウイルスの影響があるため、状況を見ながら出来るところから実施していくようにする。オレンジプラスカフェについては、このまま継続し参加していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月1日 (16:00~17:00)
7. 運営	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 赤津杏咲 内木艶子 岩本真由美

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		9	3	1	13

## 前回の改善計画

事業所としてのあり方や運営方針、職員間の意見交換などをフロア会議で話し合いができるよう機会を作っていく。そして、運営方針や目標について全員が共通認識のもとに目標に向かって努力していく。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

フロア会議のやり方を工夫して、職員間で意見交換がしやすい雰囲気を作るようにしている。また、毎日夕方の反省会を行う事で、当日の反省などの意見交換の場を作ることが出来た。ただし、運営方針や目標などについては、まだまだ職員間で浸透していないと思われる。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	8	4	1	14
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	3		14
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	2	1	14
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	4	5	14

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

フロア会議や夕方反省会などを定期的に行う事によって、利用者からのニーズや職員からの意見などを伝えることができるようになり、早めに対応することができるようになった。また、問題点などを話し合い、ルール化され取り組みやすくなった。職員、パートなど分け隔てなく意見を反映することが出来ている。

## できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

意見が分かれてしまった際に、なかなか納得しきれない部分があり同じ方向に向いて対応が出来ていない時があった。また、認識のズレがあり少しずつ対応が変わってきてしまっていることがあった。新型コロナウイルスの影響で地域住民との交流がほとんどなかった。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

夕方反省会やフロア会議を浸透することで、それぞれの意見や対応のすり合わせを行なうようにする。また、リーダーとの面談を随時行い、それぞれの考え方や対応方法などを確認し、フロア運営に役立てていく。地域との関わり方については、新型コロナウイルスの状況を見ながら検討していく。利用者がなかなか増加しないため、小規模多機能の利点を周知し利用者の拡大を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 赤津杏咲 内木艶子 岩本真由美
-----------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		4	7	3	14

前回の改善計画	外部研修やスキルアップにつながる研修に参加できるよう、勤務体制の見直しなどを行っていく。また、各職員の面談などを行い、そのようなスキルアップをしていくための意識向上に努めるとともに、研修に参加できるように調整を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は新型コロナウイルスの影響で外部研修などが実施されず、参加することはほとんどできなかった。各職員には面談という形ではないものの、日頃から声掛けやアドバイスをを行うよう配慮した。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		5	4	5	14
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	2	10	14
③ 地域連絡会に参加していますか	1		2	11	14
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	4	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
施設内研修は3密を避けるために、資料を配布したり、少数で研修をして、その研修をさらに少数に伝えていくなど臨機応変に対応することができた。常にリスクマネジメントを職員間で話し合い、転倒などの事故を防ぐようにしていました。また、センサーマットなどの福祉用具なども活用した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルスの影響で外部の研修はもちろん、施設内研修についても集まって行う事ができなかったため、ほとんど参加できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新型コロナウイルスの影響がまだ残ると思われるため、少人数で出来る研修などを検討していく。そのため、事前に職員より勉強したい内容などを聞き取り、資料などを集めて実施できるようにする。また、外部研修があれば職員配置などに配慮し参加を検討していく。	



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 赤津杏咲 内木艶子 岩本真由美
--------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	2		14

前回の改善計画	記録物などの保管については引き続き、事務所内で保管するようにし整理整頓に努めている。身体拘束、虐待、プライバシーについてはフロア会議などで定期的に意見交換を行い、各職員間の基準の統一を図って介助に役立てていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	引き続き、整理整頓や保管については注意しながら行っている。身体拘束や虐待についても安全、拘束委員会を中心に各職員間で高い意識を持つように努めている。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	2			14
②	虐待は行われていない	13	1			14
③	プライバシーが守られている	5	9			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	3	3	2	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	10			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
記録物などについては、フロアには置かず事務所で保管することを徹底している。また、人権を尊重し出来る限り利用者に合わせた生活が送れるよう、職員間で話し合いを行い、対応している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待はないですが、プライバシーについてはフロアで利用者の事を話をしてしまったりなど、まだまだ甘い所があった。個人ファイルや記録物も事務所に保管しているが、整理整頓が出来ていない事が多くあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
プライバシー保護や個人情報の管理について研修・勉強会を行うとともに、事業所単位でも利用者の個人情報管理ができるようケース記録の管理方法を検討し直す。契約時に署名してもらっている個人情報利用同意書について全員で確認する機会を設けていく。	